



硫黄島に設置された火山観測テレメータ装置

## 防災科学技術研究所様の 硫黄島火山観測テレメータ装置を更新

(独)防災科学技術研究所様(以下、防災科研)では、プロジェクト研究「基盤的な高精度地震火山観測研究」と「火山活動観測予測技術開発」の一環として硫黄島の火山観測を行っています。

30年以上続いている観測のため、硫黄島の3火山観測点(天山・眼鏡岩・摺鉢山)の無線テレメータ装置等の更新事業が平成24年度実施され、明星電気が受注・納品をしました。観測に重要な無線テレメータ装置は明星電気製の“小型低消費電力テレメータ「S500シリーズ」”を用いることで、停電時でも長時間の高精度観測が可能になります。また、硫黄島のような東京から1200km離れた島でも、衛星通信を経由することで、つくば市からリモート操作を行えるため、効率的かつ正確なデータ収集が可能になります。明星電気は、今後も火山や地震の防災研究の発展に貢献していきます。

(当社営業担当: 気象・防災・制御グループ 小林 遼平)



四万川ダムによってできた奥四万湖

## 群馬県県土整備部殿発注 四万川ダムテレメータ放流警報設備更新工事受注!

四万川ダムは、群馬・新潟・長野の3県にまたがる上信越高原国立公園内に位置し、直下流には四万温泉郷が広がっています。四万川沿川の洪水被害の軽減、中之条町、太田市など東毛地域の水道水の確保、発電を目的として建設された多目的ダムであり、19年の歳月を掛けて1999年に完成した重力式コンクリートダムです。また、ダムによってできた「奥四万湖」の湖水は透き通ったコバルトブルーで神秘的な様相です。

今回受注した設備は、ダム管理所のテレメータ放流警報監視制御装置より、ダム上下流に設置する観測局から雨量/水位等のデータを収集する役割と、ダム下流に設置する警報局を制御し、地域住民の方へサイレン・スピーカ等による放流警報を行う役割を持ちます。

明星電気の技術が、地域住民の生活、安全のために役立てられています。

(当社営業担当 関東支店 高橋 俊仁)



## 「ICTと防災」シンポジウムへ出展

3月25日、世界銀行、総務省が共同で主催する「ICTと防災」シンポジウム～東日本大震災の経験から学ぶこと～が第一ホテル東京にて開催されました。

開発途上国から大臣級の参加者も招へいされ、東日本大震災の経験等を踏まえたICTの利活用やG空間(地理空間)情報の活用のあり方等についてパネルディスカッションが行われました。

明星電気もICTと防災商品として、S740/S704QcastシリーズやS500地震テレメータ、スマート振動計、ナウキャスト震度計を展示し、デモ等を行いました。

各国の参加者も明星商品に非常に興味を示しており、海外拡販にむけ良い足がかりとなる展示会となりました。

(当社出展担当: グローバル戦略グループ、気象・防災・制御グループ)



パネルディスカッション風景(上)  
機器展示風景(下)

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。

明星電気の活動を紹介します。